



# 2026注目のイベント

ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）とFIFAワールドカップ、この2つの大きな大会が同じ年に本開催となるのは初のことのようなのでとっても楽しみです！ マルコ様

今年私の一大イベントは9月、娘の結婚式です。まだ少し先の話ですがとにかく無事に、何事もなく終わって欲しい。毎日祈るような気持ちです。洋子様

「ポケモン」のゲームソフト1作目が発売されてから2月で30年となりました。イベントではありませんが「よみうりランド」にオープンした世界初の常設ポケモンパーク「ポケパーク カントー」に子供と一緒に行くのを楽しみにしております。 ニャー様

ミラノ・コルティナでの冬季オリンピック。もう開会式の音楽が聞こえてきそうです。フィギュアスケート坂本花織選手に金メダルがとれる事を期待しています。 Y様

FIFAワールドカップをととても楽しみにしています。日本代表はもちろんですが、個人的にはノルウェー代表のハーランド選手に注目です。クラブチームでも大活躍しているので、どんなプレーを見せてくれるのか今からとてもわくわくしています。チャコ様

夏に大阪中之島美術館で開催予定の展覧会です。フェルメール「真珠の耳飾りの少女」が日本に来るのは、おそらくこれが最後との事。大阪は遠いですが、マウリッツハウス美術館のあるオランダに行くよりは、ということなどでなんとか都合をつけたいです。 ミニトマト様

今日から3月、桜の便りが待ち遠しい日々皆様いかがお過ごしでしょうか。

最近では17時を過ぎても明るく心地よい季節になり、梅の花やつくしを発見すると春の訪れを感じます。そこで今月のお題は「**おすすめの春の散歩コース**」を大募集！

採用された方にはグルメセットをプレゼント♪ 沢山のご応募お待ちしております。



子育てにこの一冊 シオとしょうぼうしゃのサバイバル 中村豪志・中川悠京/絵 定価1650円

累計1550万部売れている小学生に大人気の学習漫画「科学漫画サバイバル」シリーズに絵本が仲間入りしました！最初の1冊は、子どもたちが大好きな消防車にシオが乗って大活躍する物語です。



ある日、消防署の見学に出かけたシオたちが、カッコいい消防車や訓練の様子を見学していると、出動要請が！大変！誰かが取り残されている！ペットたちも助けないと…。

「熱いものにはさわらない」などのお約束が学べるだけでなく、「どうして燃えるの？」などの疑問にも答える、サバイバルシリーズらしい魅力もたっぷりの絵本です。

3月19日発売 コロコロ毛玉日記②

ASA限定購入特典 ①ネコの特製ステッカーが1枚つきます。絵柄は選べません。中川いざみ ②3月18日までに予約した書籍に付いている応募券で、定価1,210円「応募者のお名前入り直筆サイン色紙」が抽選で100名様に当たる！

## イラストギャラリー

素敵なイラストを  
ありがとうの気持ちを  
カンパネルラ様

### シリーズ累計 600万冊突破！ 天声人語 書き写しノート

通常版	学習用	各264円 (税込)	脳トレ版	385円 (税込)	美文字版 Vol.2	440円 (税込)	英訳版 Vol.1-5	漢字ドリル	各550円 (税込)
-----	-----	------------	------	-----------	------------	-----------	-------------	-------	------------

お求めはASA(朝日新聞販売所)で 天声人語ノート 発行・編集 朝日新聞社



# ASA川口中央の招き猫 ロンシャン君の不定期日記

★プロフィール☆  
名 前：ロンシャン君  
住まい：川口市赤山  
朝日新聞販売店

## vol.139



こんにちはロンシャンです！  
3月になり少し暖かくなってきましたが皆さんお元気ですか？  
暖かくなると心配なのが花粉症ですね。  
ボクたち猫も春先や秋口に目が痒くなったり、くしゃみや鼻水で出る事があるみたいです。



お外に出ることのある猫さんは気をつけてくださいね。  
もちろんボクは24時間お家の中でノんびりと過ごしているのだから健康です！  
皆さん季節の変わり目、体調を崩さないよう元気にお過ごしくださいね。  
それではまたロンシャン日記でお会いしましょう♪

### 震災復興に33兆円 国民負担はまだ続く

朝日新聞立川支局員 山浦正敬

インターネットの検索とAI(人工知能)を使っても、全体像をつかむのは簡単ではありません。3月で発生から15年となる東日本大震災からの復旧・復興にどれだけ国や地方自治体が予算をつぎこんだかの詳細です。津波被災地の復興がひとつの区切りを迎えるにあたって、担当記者で集計を試みました。国をあげての復興なので担当省庁が多岐にわたります。加えて、岩手、宮城、福島など地方の独自予算もあります。精査と集計は手作業ではあまりにも複雑で膨大です。そのため復興庁のまとめた「関連予算の執行状況」を参考にしてみました。

昨年度までの14年で実質で約35兆円がかかったそうです。15年目の今年度を加えて33兆円程度と見込んでいます。

日本の人口は1億2316万人(昨年12月の概算値)なので、赤ちゃんからお年寄りまでが一人当たり約27万円を負担する計算です。

財源として、私たちが納めている所得税に2.1%が加算されています。2037年まで続きます。当初の10年は、住民税も1千円引き上げられました。

一方で、原発事故の対応はまだ続きます。国は原発事故対応を中心に来年度から5年間で約2兆円の歳出を見込みます。その終着点は見通していません。

なのに、所得税に加算して集める予算の一部を、防衛費に回そうかという議論が浮上っています。

納める税金がどう使われているのか、引き続きしっかり見ていこうと思います。

### 「プリティ・リーグ」をご存じですか？

朝日新聞論説委員 西山 良太郎

映画「プリティ・リーグ」は、米国で1943年から12年間実在した女子プロ野球が舞台でした。選手たちが自らの才能に目覚め、当初は女子野球を馬鹿にしていた元大リーガーの監督も精魂傾けて指導に取り組み、女子野球が成長していく物語でした。

発案者は当時のシカゴ・カブスのオーナーで、狙いは第2次世界大戦の兵役で選手不足に陥った野球にファンの関心をつなぎ留めることでした。選手には「女性らしさ」を求め、ユニホームにスカートを導入したり、口紅を欠かさぬよう求めたりしました。

それから70年以上を経て今年8月、野球発祥の国で新たな女子リーグが始まります。

時代の移り変わりを映すように、昨年11月のドラフトで指名された120人は北米や中米、韓国など世界各地でそれぞれ実績のある選手ばかり。日本からも10人が指名され、W杯で3大会連続MVPの里綾実投手が全体の2位指名でロサンゼルスに入団します。

新リーグの発足は、他の女子プロリーグの影響も大きいでしょう。バスケットが高視聴率をあげ、ソフトボールもリーグを拡大しています。観るスポーツとしての土台は着実に広がっています。

かつてはテニスやゴルフが象徴するように、女子競技は男子より一段低くみられ、賞金にも差がつけられていました。しかし、スポーツも男女それぞれに特色があり、異なる面白さがあることがようやく理解されてきたと感じます。

女子野球が飛躍する年になって欲しいと願います。